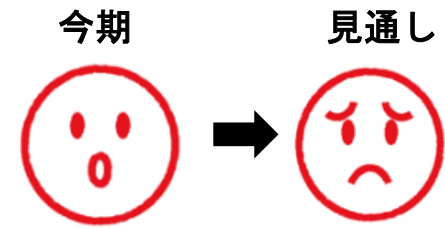


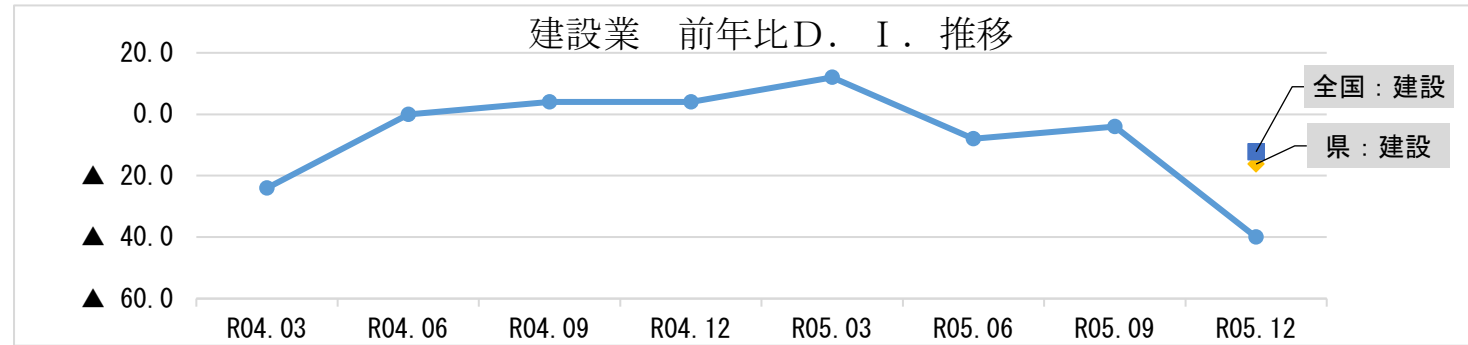
建設業

回答率：100% (25/25)



■丹波市の景況推移

住宅等の新築・リフォームともに受注は少ない状況となっている。木材の価格は少し落ち着いたが、資材の価格が高騰しており、依然として利益が出ない状況が続いている。今後の受注見込みについては、案件も少なく不安定な状況が続くと思われる。



■丹波市の景況動向

【丹波市の今期の景況】

住宅等の新築・リフォームともに受注は少ない状況となっている。木材の価格は少し落ち着いたが、資材の価格が高騰しており、依然として利益が出ない状況が続いている。業界的に人手が足りないこともあり、他の現場に応援に行くことも多い。

【丹波市の来期の景況予想】

資材の高騰により仕入れ価格が高止まりしており、大手住宅メーカーとの価格面で非常に不利な状況が続いており、受注件数にも影響している。今後の受注見込みについては、案件も少なく不安定な状況が続くと思われる。

■全国の景況動向

リフォーム需要等の民間工事が増加しており、受注は比較的堅調を維持している。しかしながら、工事完了後に収入が生じることから、原材料高騰やコスト高で増大した支出が先行して生じることによって、資金繰りが悪化している。また、人手不足が慢性化しつつある。

■県下の景況動向

リフォーム工事及び新設工事ともに減少し、市場の回復は厳しい状況となっている。資材の価格が高騰しており、建築加工単価の上昇分が継続的に発生している状態である。

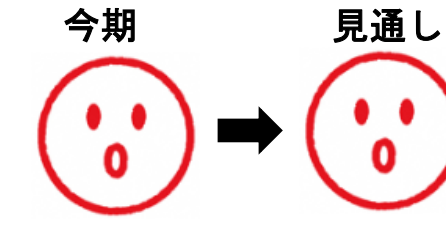
■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	0	0	0	0	1	2	8.0%
不変	0	6	0	2	3	0	11	44.0%
悪い (悪化+やや悪化)	2	6	1	2	0	1	12	48.0%
合計	3	12	1	4	3	2	25	100.0%

製造業

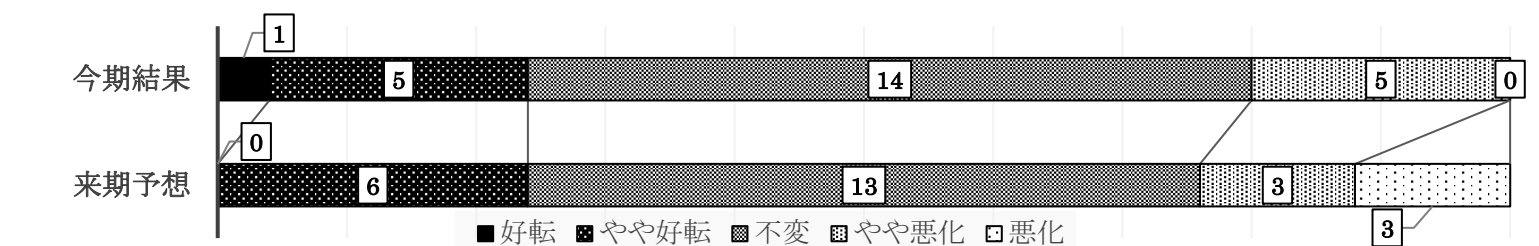
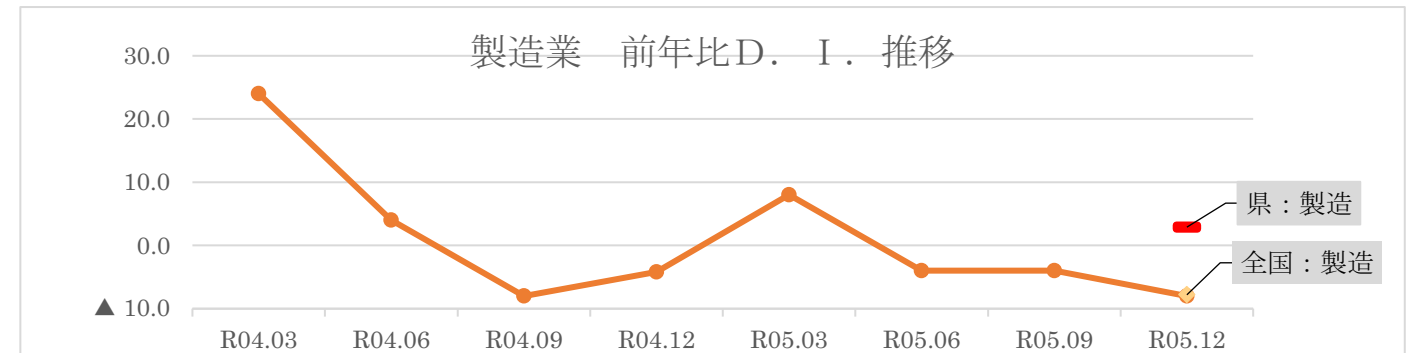
回答率：100% (25/25)

2023年10月～12月期調査



■丹波市の景況推移

受注量は増加傾向にあるが為替の影響や原材料の高騰により、経費の上昇・人件費の増加が継続的に続くと思われる。そのため、生産性の向上、DX化の推進等が求められて来ると想定される。



■丹波市の景況動向

【丹波市の今期の景況】

全国的には自動車関連の需要は増加しているが市内に於いて、受注量は微増に留まり、回復には時間を要している。食料品関連は年末年始の需要や会食の需要等、また原材料の価格低下により回復傾向にある。ただ、一部の事業者では価格転嫁が行えず、利幅を圧迫している状態が見受けられる。

【丹波市の来期の景況予想】

市場の動向は回復傾向にあるが経費の上昇、人材費の上昇と不安材料も継続して発生をしている。その中で人材の確保に至らず、雇用の面で課題を抱えている事業者が多く、生産性の向上や人材の多能工化が求められている。

■全国の景況動向

半導体関連の需要が大幅に増加しており関連する産業や自動車生産、機械・金属関連は受注増加の傾向が見受けられる。また、酒類の消費が上向くなど会食機会の増加などで飲食料品・飼料製造も増加傾向にある。ただ、化学品製造業は中国経済の減速、海外市場への荷動きが停滞したことにより動向は失速している。

■県下の景況動向

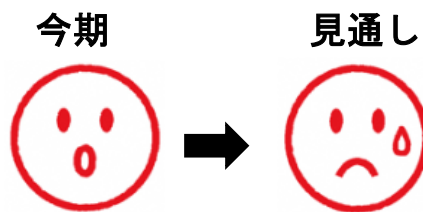
年末商戦や季節性商品の需要の高まり、コロナ禍からの回復により例年の水準に戻り受注が増加。仕入価格の上昇が継続して発生しているが経費の削減やコストカット等により採算性は好転している。そのため、作業効率の向上・業務効率化への関心がより一層高まり、その対応に関心が持たれている。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	4	0	1	1	1	7	28.0%
不変	2	2	2	2	0	1	9	36.0%
悪い (悪化+やや悪化)	0	3	3	0	2	1	9	36.0%
合計	2	9	5	3	3	3	25	100.0%

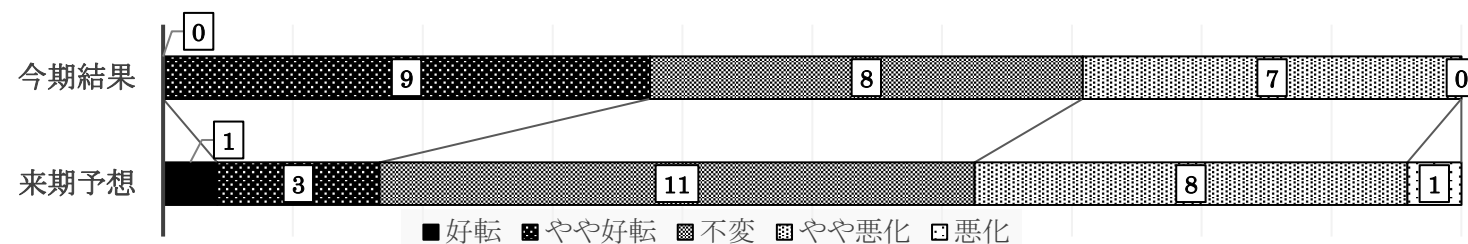
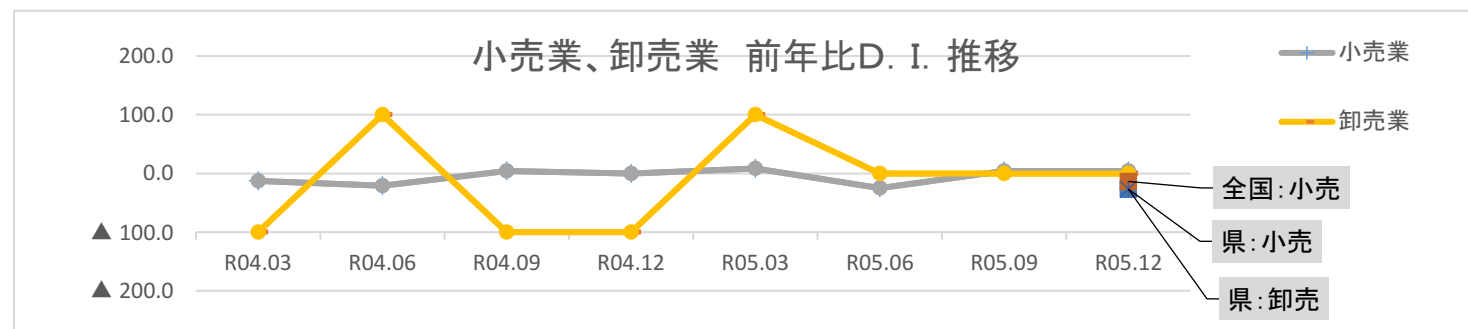
小売、卸売業

回答率：96% (24/25)



■丹波市の景況推移

秋の観光シーズンや、年末のイベント開催等、丹波市外からの来店客も多く売上高も回復傾向にあった。しかし建設資材卸小売業では、施工工事が動かず、需要は継続的に悪化している。



■丹波市の景況動向

【丹波市の今期の景況】

10月、11月の秋の観光シーズンは、丹波市外からのお客様の来店も多く、売上高も回復傾向にあった。また、年末についても比較的好調で売上高も昨年対比で多少ではあるが増加となっている。衣料品販売業では、暖冬の影響でセーターやコートなどの冬物商品が伸び悩んだ。酒類販売業では、ようやくコロナ前（2019年）の売上に迫るまでに回復してきたが、仕入れ価格の高騰による価格転嫁に踏み切れず非常に悩ましいところ。

【丹波市の来期の景況予想】

建設資材関連では建設資材の高騰などの影響により施工工事の動きが鈍く、今後も需要は継続的に減少の傾向にある。年末需要の反動により少しお客様の動きが減少傾向である。

■全国の景況動向

観光客の増加や年末のイベント開催のほか、書き入れ時に入り「飲食料品小売」は4ヶ月ぶりに改善した。インフルエンザの流行などで医薬品販売が増えたほか、外出機会の増加に伴い化粧品需要も押し上げ要因となり「医薬品・日用雑貨小売」は3ヶ月連続で上向いた。他方、自動車の代理店からは、「一気に逆風が吹き荒れている」といった厳しい声があるなど、新車・中古車ともに「自動車・同部品小売」は2か月連続で悪化した。

■県下の景況動向

食料品小売関連の事業者は、仕入れ価格の高騰が続いている。行政支援による買い物ポイント事業により売上はやや回復しているところもある。

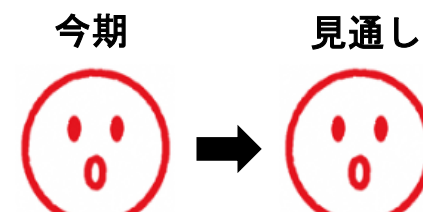
■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	3	2	0	0	1	1	7	29.2%
不変	2	5	0	2	1	1	11	45.8%
悪い (悪化+やや悪化)	1	2	0	2	1	0	6	25.0%
合計	6	9	0	4	3	2	24	100.0%

飲食・宿泊、サービス、その他業種

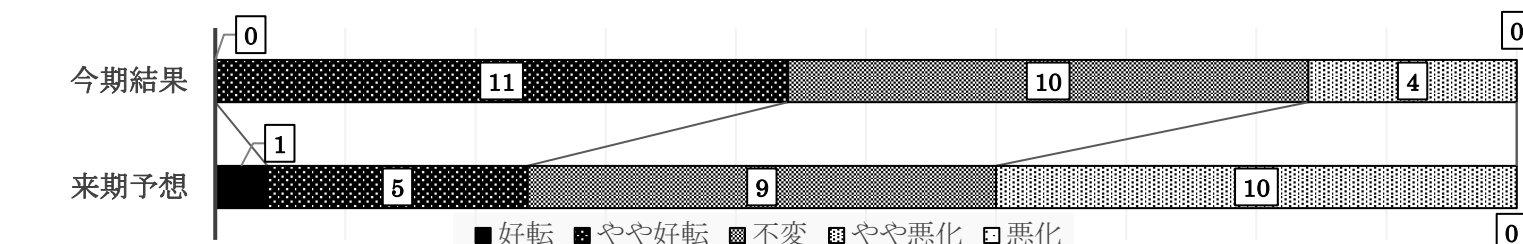
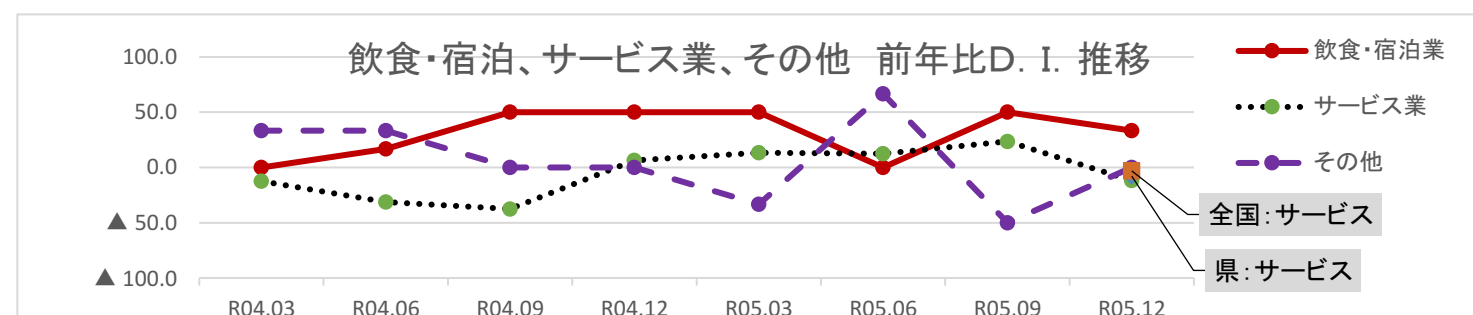
回答率：100% (25/25)

2023年10月～12月期調査



■丹波市の景況推移

飲食業ではコロナ前まではいかないが回復傾向。サービス業全体で材料・燃料高騰の影響で利益圧迫、依然厳しい状況が続く。前年に比べ宿泊客も戻ってきている。



■丹波市の景況動向

【丹波市の今期の景況】

年末の宴会需要も回復傾向にありお客さんも戻ってきている。ただ他のサービス業含め、材料や燃料高騰の影響で利益率減。宿泊業に関しては前年に比べて客足は戻ってきているが、都市部に比べてインパウンド需要の実感はない。

【丹波市の来期の景況予想】

物価、燃料高騰が高止まりし、各事業所で値上げ等の実施がひと段落。観光関連、飲食業を中心に今後さらに客足が戻ることを期待。理美容関連はコロナ前の水準へと戻っているが、慢性的な人手不足に陥っている事業者も多い。

また、飲食業、農業、サービス業（理美容・エステ・リラクゼーション）での起業、出店は増加傾向にある。

■全国の景況動向

サービス業については好調が続いていたが、ここにきてやや一服感がみられる。宿泊関連については全国的には旅行支援施策の終了に伴い売上はやや悪化。また、積雪量不足によりウインタースポーツ関連の旅行需要は低下している。理美容関連はゆるやかな改善続く。

■県下の景況動向

全体的に売上及び収益状況が改善したとする企業の割合は増えたが、前年と比較して資金繰り状況は悪化しているという企業が増加。人手の状況は不足とする企業が全体の2～3割を占めている。

また全国と同様に県北部では、積雪量不足によりウインタースポーツ関連の旅行宿泊需要は減少している。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	5	0	2	0	0	8	32.0%
不変	1	3	1	1	2	1	9	36.0%
悪い (悪化+やや悪化)	3	0	3	1	1	0	8	32.0%
合計	5	8	4	4	3	1	25	100.0%